

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

2022年10月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

<新着図書>

All About My Blue 2011-2021 永田正人写真集 II



永田正人, 2022, 95pp. 価格: 2,200 円 (税込・送料別)
「ヤマト青メス」に魅せられて。稀ではあるが、翅表のほとんどが青鱗粉に覆われ、雄と見紛うばかりの雌も存在する。黒地に青い鱗粉を散りばめた雌の翅表は美しい。しかし、たかがヤ

マト、されどヤマト。ちょっとした光の当たり具合、光の強さでこれほど表情を変えるチョウは少なく、撮影には苦労した。以下、ヤマト青メスに魅せられ、秋に 100 ミリマクロで撮り続けた十年間の記録である。

一著者前書きよりー 2021 年発行の「飛ぶチョウたち」に続き、ヤマトシジミの「青メス」に魅せられた著者の渾身の作品となっています。

※本書は一般書店には並びませんので、当社宛に直接ご注文下さい。

珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース(27)



アゲハチョウ科⑦ カラスアゲハ-2
有田斉・朝日純一(編), 2022. A4, 65pp., (フルカラー). 価格: 5,500 円 (税込)
前巻に続いてカラスアゲハ (*Papilio bianor*) を扱う内容となっています。八重山のカラスアゲハ、沖縄本島と周辺島嶼産について(先日記載されたばかりの慶良間島産亜種の詳細記述有)、奄美諸島亜種が多数の標本写真とともに解説されています。また、補遺として台湾本土亜種、緑島、蘭嶼の個体や台湾から飛来したと考えられる迷蝶個体、異常型も掲載されています。

※少数のみ入荷、大人気シリーズ・部数限定販売につき、お早めにお買い求め下さい。

誘蛾燈 Supplement 16 (2022年8月発行)



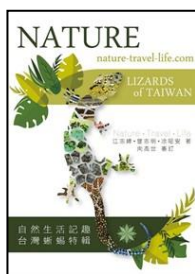
紫外線 LED トラップによる新潟県弥彦山系の 2020, 2021 年の蛾類

内藤恒夫・佐藤力夫・平野長男・青野昭夫, B5, 80pp. 価格: 3,000 円 (税込・送料別)

著者らは、2016 年から新潟県各地で紫外線パワフルLEDを使った蛾類のトラップ採集を行っており、今回は弥彦山系の 2020, 2021 年のまとめとなる。58 科 1435 種が記録され、新潟県から初めて報告された蛾類は本州初記録種を含む 42 種とな

っている。特に小蛾類については新潟県未記録種が多く掲載されている。

Atlas of Lizards of Taiwan 台湾及び周辺諸島のトカゲ図鑑



JIANG, JIHI-WEL, ZENG, JIHI-MING, TU, JIAO-AN, 2021.

190mm x 258mm, 168pp., ほぼフルカラー, ソフトカバー, テキスト: 中国語(繁体字) 価格: 4,950 円 (税込)
台湾のトカゲ 46 種について、800 枚以上のカラー写真、詳しい説明と分布を掲載しています。また、外来種や侵入種も含まれています。2008 年出版の「台湾蜥蜴自然誌」の新版という位置付けとされています。

いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律



中島慶二・益子知樹(監修), 山と溪谷社
いきもの部(編集), 2022.

A5, 128pp. 価格: 1,980 円 (税込)

自然の生き物たちに関連する法律を分かりやすく紹介する、生き物好き必携の 1 冊となっています。近年、「天然記念物と知らずに捕まえた」などの行為を SNS 上にアップロードし、違法行為として炎上するケースなどが増えています。なんとなく行っていた採集が、実は違法行為に該当していたというケースもあります。

こうした背景には、単純な「生き物を守る」ことに関係する法律だけでも「自然公園法」「種の保存法」「外来生物法」以上、環境省)「文化財保護法」(文化庁、「漁業法」(水産庁)など、担当する省庁の異なる法律が絡み合う他、各都道府県や市町村での条例なども加わり、非常に複雑な体系をしていることが原因と考えられます。本書は、そんな複雑に絡み合った法律を、「日本中どこでもとってはダメな昆虫」といった形で、生物・環境ごとに草分けした上で、法規制が「種・場所・種と場所・その他」のどれに対してかかっているのかで分類し、わかりやすく紹介します。生き物採集を行う前に確認するチェックリストやコラムなども充実。

昆虫学者、奇跡の図鑑を作る



丸山宗利, 2022.

新書判, 226pp., カラー図多数, 価格: 1,200 円 (税込 1,320 円)

昆虫図鑑の舞台裏、全て見せます...先日出版されたばかりの「学研の図鑑 LIVE 昆虫 新版 (DVD つき)」の総監修者が伝える製作現場の舞台裏秘話の数々。目標 2000 種、期限は 1 年、撮影はプロではなく全国の昆虫愛好家にこだわった最高難度のプロジェクトが始まった...相次ぐ問題、積み重なる疲労、ピリつく人間関係。だがついに日本全国

7000 種の生体を撮影、学習図鑑史上最多となる 2800 種掲載の奇跡の図鑑の全記録です。

ツノゼミ GO Vol.1



大平令, 2022.
A5 版, 48pp. テキスト: 日本語
価格: 1,540 円 (税込・送料別)
山を歩いてツノゼミを探す遊び「ツノゼミ GO」のフォトブックです。グアテマラに住む著者が、中南米の国々で撮影したツノゼミ約 70 種を紹介しています。
ツノゼミの魅力にハマった親子が全種コンプリートを目指して旅する第一巻です。

ツノゼミ GO Vol.2



大平令, 2022.
A5 版, 48pp. テキスト: 日本語
価格: 1,540 円 (税込・送料別)
コロナ禍でグアテマラに 2 年間封じ込められた著者が、近所で見つけたツノゼミを紹介する「ツノゼミ GO」のフォトブック第 2 巻。
新たに探したグアテマラ産ツノゼミ 17 種類と珍しいその他の虫の写真を白背景で掲載しています。

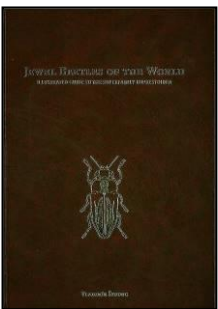
東京で見られるキジラミ 葉をめくるキジラミ観察



小野健一, 2022.
A5 判, 48pp., フルカラー, 価格: 1,200 円 (税込)
本書では、著者が東京で見つけた普通種キジラミ 26 種を取り上げ、生態写真を豊富に掲載しています。◆成虫の写真に加え、卵や幼虫、羽化の様子などの写真も掲載していますので、キジラミの生活史に触れることができます。◆寄主植物、虫こぶなど、植物に関する情報も多く盛り込んでいますので、実際にキジラミを探すことができるようになります。書名に「東京」とありますが、普通種がメインですので、どの地域にお住まいでもお楽しみいただけます。

※個人出版書籍のため、一般の書店では入手できません。

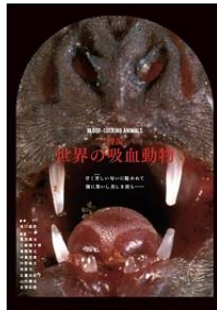
Jewel Beetles of the World 世界のタマムシ



Vladimir Strunc, 2022.
215x303mm, 208pp.(フルカラー), ハードカバー, テキスト: 英語. 価格: 14,000 円 (税込 15,400 円)
世界のタマムシ 111 属 504 種・亜種が美しいカラー標本写真で紹介されています。大きく 3 構成になっており、メインセクションには 93 種が 1 種 1 ページ (背面、側面の拡大写真など) に、地理別セクションには 132 種が 4 種 1 ページに、属別 (アルファベット順) にその他の種が 6-12 種が 1 ページにまとめられ、見ごたえのある構成となっています。学名・分布・体長・性別も掲載されていますが、種の解説はありません。本書の監修は、V. Kuban (チェコ) が担当。収録されている学名の妥当性、正しい綴り、著者名、出版年については、最近出版された Buprestoidea 上科の世界カタログ (Bellamy, 2008, 2009)

および Palearctic Catalogue の第 2 補遺版 (Kuban, 2016) を確認した。これらの日付以降に改訂論文が出版された場合は、これらの論文のデータを上記と同様に使用した (例: Holynski 2009, 2014, Moore & Vidal 2015, Frank & Sekerka 2016, 2020, Frank 2000)。また、収録された分類群の同定はすべて写真に基づき行われたという。旧北区と東洋区については、Kuban の個人コレクションと個人蔵書に基づいて確認した。残りの地域についても、Kuban の個人コレクション、ブラ八国立博物館昆虫学部門のコレクション、個人蔵書をもとに検証を行っている。

図説 世界の吸血動物



浅川 満彦 (監修), 葛西真治, 三條場千寿, 島野智之, 中島宏章, 中野隆文, 西海功, 比嘉由紀子, 山内健生, 吉澤和徳 (編著), 2022.

B5, 192pp. 価格: 2,970 円 (税込)
ダニや蚊、ノミなど人間にとっては厄介で怖い「血を吸う動物」ですが、その不思議な生態や身体のおもしろみは動物好きなら魅了されること間違いなしです。

本書のおよそ半分は節足動物となっていて、昆虫は蚊・ノミ・シラミ・ヌカカ・ブユ・アブ・ハエ・サシガメなどが美しいカラー写真と各動物の専門家の文章で、彼らの研究の“今”を交えながら紹介されています。伝染病の媒介となる恐ろしい生物の話題なども豊富に盛り込まれています。卵胎生のツツエハエが 3 令幼虫を産む連続写真は圧巻です。

働かないアリに意義がある (文庫版)



長谷川英祐, 2021.
220pp. 価格: 935 円 (税込)
本書のもとになった 20 万部超ベストセラーの同タイトル書籍が、復刊文庫化されました。弊社でも長らく品切れで、問い合わせが多かった読み物のひとつです。働き者で知られるアリ。しかし彼らの 7 割は実は働いておらず、1 割は一生働かない。働かないアリがいるからこそ、組織が持続しているというのである。これらを発見した生物学者が著す最新知見からアリやハチなどの社会性昆虫の集団と個の快適な関係を学び取りたい。

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし (むし社)

2022年11月号 (621号)



B5, 64pp. 1,320 円 (税込・送料別)
カミキリ特集号・22
[表紙] ムラサキアオカミキリ 目黒賢児, 今月のむし ヤクオニホソコバネカミキリ♀ 宮川 崇, 至福の日々: 九州南部のカミキリを探る (4) ~ 日向の国に「大隅半島」はあるか?? ~ 小岩屋 敏, チョウセンシロカミキリの食樹と後食植物について 足立一夫, 青森県のコバヤハズカミキリ未記録産地を訪ねて 浅野悟史, マイナー離島のカミキリ紀行 ⑤ 沖永良部島から与論島へ イマサカドウボソカミキリと遊ぶ 藤田 宏, 富士山北麓で得られたオオクロカミキリ属の不明種? 平山洋人・宮本敏行, 台湾のヤエヤマトラカミキリ種群について 新里達也, 神奈川県横浜市におけるクリストフコ

トラカミキリの継続的な観察記録 井ノ上 健・日下部良康, オオカミキリの芳香について 秋田勝己・小林真大, KIROKU・HOKOKU (16編) 埼玉県秩父市でタカネヒメハナカミキリを採集 西 泰弘, 東京都奥多摩町でオニホソコハナカミキリを採集 渡邊健斗, カエデノヘリグロハナカミキリの一斑紋変異 平山洋人, カスリドウボソカミキリ 3 亜種を宿の灯火で採集 森部 章, クリの花にきたオオホソコハナカミキリ 藤田 宏, 富山県初記録のケバカヒラタカミキリ 北村征三郎, 島根半島の大平山麓でセダココバヤハスカミキリを採集 大鷲友多, 大阪市でナガサキツヤホソゴミムシダマシを採集 秋田勝己・幸形 聡, 対馬で発見されたシワハムシダマシ 今坂正一・日下部 満・野田正美・熊谷 豪, 京都府舞鶴市におけるサヌキキリガの記録 山田悠斗, 四国のニホンアミカモドキ 吉富博之, 茨城県常陸太田市でハラアカコバカミキリを発見 島津俊樹・加藤 茂, 茨城県久慈郡大子町にてハラアカコバカミキリを採集 西浦雄仁, 1 か月以上生存したヨツスジハナカミキリの♀ 笹倉靖徳, ヤエヤマニセツツマクソコガネを熊本県から採集 立川喜一, アオサナエの岩手県における北限一滝沢市における採集記録— 佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二, 編集後記

季刊ゆずりは (NRC 出版)

No.95 (2022年10月1日) A4, 64pp, 2,000円 (税込)



<グラビア> ヒョウモンモドキ 1997年から2001年ポジフィルムストックから 中橋利和, チョウセンアカシジミがカクレミノに産卵 佐々木孝明, 一表紙解説—フタオチョウ 遅沢恭二, 蝶類の紫外線撮影 1.国内産キチョウ類および台湾産キチョウ類 浜祥明, オオイチモンシの雌雄型を採集 井辻一雅, 福岡県のシルビアンシジミ探索 平林徹也, 迷蝶数種の記録 広澤繁雄, 村田コレクションの今 近藤高明, 奇跡の山 石垣島編その2 浜祥明, 2022年奄美大島撮影記 山下孝道, 蝶

学生のラオス蝶類紀行(上) 楠本優作, 絶滅危惧種の撮影記(その2) 大塚昭, 沖縄産蝶類の研究 XV —セセリチョウ類の見分け方や変異について(II)— 浜祥明, 全国こども昆虫キャンプ 2022in 湯の山 長谷純, 【連載シリーズ】 むしの風景 44 沼島の秋 近藤伸一, 止々呂美哀歌95 夏秋優, 撮影記50 オナカアゲハ 新井雅夫, 【ゆずりはメモ】 ライトに飛来したミナミキチョウ 浜祥明, ヤエヤマイチモンシの異常型を採集 平林徹也, ナガサキアゲハの有尾型の採集例 2 例 瀬戸昭, 蝶類の卵の寄生バチについて 浜祥明, 蒜山高原のキマダラモドキの記録 紅隆史, 【ゆずりはギャラリー】 86「早暁」アオスジアゲハ 中橋利和, 【メモリアルベストショット】52 オオミスジ 梅村三千代, Books(新刊紹介) 小野寺博昭著『私のラオス蝶類図譜 My Illustrated Checklist of Butterflies in Lao P.D.R.』 渡辺康之

<新着 学会誌・同好会誌>

InsectTOHOKU (福島昆虫ファウナ調査グループ会誌)

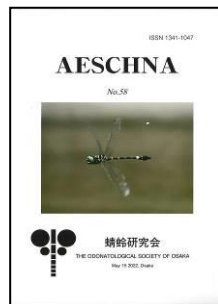
No.60 (2022年9月30日) B5, 36pp., 800円 (税込・送料別)



福島県額取山(安積山)とその周辺のトビムシ類 須摩靖彦, 秋田県由利本荘市子吉川河口および秋田市下浜長浜の海岸で採集された甲虫 芳賀 馨, 2022年に採集したいくつかの蝶類の記録 渡辺 浩, 福島県のマルトゲムシ上科甲虫の現状 斎藤修司, 郡山市で得たクスジドロムシについて 斎藤修司, 旧滝根町で得たセアカチョッキリとオビモンナガハムシ 斎藤修司, 2016~2017年の北塩原村での採集会などで得られた甲虫の追加記録 金子道夫, 南相馬市浪江町で観察されたヒラタドロムシ科 (Psephenidae)の幼虫の記録 趙 在翼・斎藤梨絵・石井弓美子, [普及活動報告] 田村市船引町光陽台における昆虫観察の記録 趙 在翼ほか7名, 本誌第59号の報文撤回について 編集部, 編集後記 ロド

AESCHNA (蜻蛉研究会)

No.58 (2022年5月発行) A4, 102pp, 4,000円 (税込・送料別)



【報文】カラフトイトトンボの幼虫期間 横山 透, 北海道産ナツアカネ♀の翅斑出現率 横山 透, 千葉県北部に生息する希少種ベニイトトンボの保護について 鈴木康彦, アオミドロに絡まり溺死したタカネトンボ 喜多英人・須田真一, 東京都町田市忠生公園のトンボ 喜多英人・池田倫子・畑田幸憲, 高水温に耐えるウチワヤンマとコフキトンボ 吉田雅澄, 故山本悠紀夫氏の文献目録などの追加と修正 鶴

昆虫と自然 (ニューサイエンス社)

2022年11月号 (Vol.57 No.12) B5, 40pp, 1,682円 (税込 1,850円)



特集・人の生活を支えるハエ Flies that support human life, 総論: ヒロズキンバエによるマゴットセラピーと花粉媒介 岡田 匡, ハエと生物学 沼田 英治, ウジ虫(マゴット)が足壊瘍を直すのはなぜ? 三井 秀也, マゴットセラピーで足を救う 吉田 桂, イチゴ栽培でのハエの利用 西本 登志, 連載 日本の迷蝶 (10) これまで日本で記録された迷蝶の近況について (3) 高橋 直, 報文 『昆虫と自然』の目のツケドコロ 井手 竜也

BE-KUWA (むし社)

No.85 (2022年10月発行) A4, 128pp, 1,430円 (税込)



発表 第22回クワガタ飼育レコードコンテスト, ギラファンコギリクワガタ飼育レコード飼育法 本間 隆行, レコードホルダーのアラガールホソアクワガタ飼育方法 竹辺 伸, モーレンカンブオウゴンオニ レコード個体飼育方法 井上 健次, フェイスタメルシワハネクワガタ飼育レポート 今西康仁, 息抜き飼育にこんな虫 メンガクワガタの巻 春日 良太, 近く所くわ友もっちゃうんババと行く デカヒラタの島・対馬 ほしいなら, HirokAのハ

ラ2漫遊記 河野 博史, 隙間産業的飼育 ケルヴルス系ヒラタクワガタ編 安部 浩平, 異種格闘技戦!! 遠藤哲哉のクワカブ vs プロレスラー!! 遠藤 哲哉, オオクワブリーダーの熱を伝える! 心を燃やせ! 目指せ90mm! 久留米 vs 能勢バトル KLB, 21世紀版 クワガタムシ飼育のスーパーテクニック 小島 啓史, 山梨オオクワ採集 台木の上にも3年! 長坂 敬司, 虫のためなら, どこへでも! 野澤 亘伸, 日本産クワガタムシ採集紀行 フナ帯の住人 静岡Mさん, クワガタ飼育レコード一覧表, 読者と執筆者と編集部をつなぐ井戸端会議室 び〜くわ横丁, クワガタ用語の基礎知識, 編集後記

殿清文、東海三県（愛知・岐阜・三重）のメガネサナエ属の継続調査報告 鶴殿清文、三重県四日市市川島町の湿地で確認したトンボ類 第2報 松沢孝晋、大和高原における淀川水系のアオハダトンボの分布と生息環境 片谷直治・片谷俊彦、大阪府豊中市及び吹田市の池に生息するナニフトンボの個体識別による生態観察 野口 隆、奈良県宇陀川・布田川におけるキロヤマトンボの生息状況 村木明雄・谷村勇司、広島県東部におけるキロヤマトンボ採集の記録と過去の県内の記録 柳澤尚志、タイ北部で採集した *Zygonyx* sp. の検証 村木明雄、【短報】乾燥に強いオツネントンボ 吉田雅澄、東京都葛飾区のスジボソギンヤンマの記録 喜多英人・長谷川恵一、富山県射水市で3月15日にアジアイトトンボを確認 二橋弘之・二橋 亮、大阪府堺市でスナアカネを目撃 村重 隆、瀕死のネキトンボ雌の産卵行動を観察 江平憲治、石垣島でハネビロトンボとヒメハネビロトンボの種間雑種を採集 興膳昌弘、2022年イベント等の案内、【表紙】キロヤマトンボの旋回飛翔 谷村勇司 表紙裏

KORASANA (久留米昆虫研究會)

98号 (2022年6月発行) B5, 158pp, 3,500円 (税込・送料別)



犬ヶ岳におけるオオチャイロハナムグリの記録 小野正則、田川市でホソコハナムグリを採集 小野正則、キンズシコガネを犬ヶ岳で採集 小野正則、モリアオホソゴミムシを英彦山の外灯下で採集 小野正則、福岡県田川地域におけるコガタノゲンゴロウの記録 小野正則、庭のカエデからムラサキアオカミキリが羽脱 小野正則、シユウニキボシカミキリを福岡県犬ヶ岳で採集 小野正則、英彦山でヒゲブトハナカミキリを採集 小野正則、英彦山でヒラヤマコブハナカミキリを多数採集 小野正則、英彦山のカラスシジミ 小野正則、英彦山のウラゴマダラシジミ 小野正則、鹿児島県本土で採集したクロシオガムシ 稲畑憲昭・相本篤志、ホソアバカボガシラハネカクシを西表島から初記録 伊東善之、福岡市中央区南公園のヒゲナガゾウムシ 今田舜介、クロモリヒラタゴミムシについて 森田誠司、アマミツヤヒラタゴミムシについて 森田誠司、ケナシツヤヒラタゴミムシの雄について 森田誠司、トンネル内壁に大集結する昆虫 永永 学、丸山式FIT で得られた筑前町砥上岳の甲虫類 城戸克弥、筑前町砥上岳で採集した甲虫類 城戸克弥、あちこちで採集したゴミムシ類 緒方靖哉・今坂正一・森田誠司、あちこちで採集したゾウムシ上科の甲虫類 緒方靖哉・城戸克弥、昆虫採集逸話 “オオチャイロハナムグリ 緒方靖哉、昆虫採集逸話 ” 虫に逆襲された話” 緒方靖哉、昆虫採集逸話 ” Are you an entomologist?” 緒方靖哉、北九州市戸畑区の市街地でヤブヤンマを採集 勝間信之・山本浄司、ホソチビヒラタムシ属 2種の四国の記録について 越智恒夫、甕島採集紀行 その4 (2020年9月) 今坂正一・國分謙一、甕島で2020年7月と9月に採集した昆虫類 矢代 学・今坂正一・國分謙一・細谷忠嗣、秋の屋久島採集記 小林修司、多数のアオタマムシがモミ材から羽化脱出 小林修司、トゲフタオタマムシがモミ材から羽化脱出 小林修司、クチキクシヒゲムシの採集に於ける知見 和田 潤・越智恒夫、福岡県 RDB2014 に掲載されている蝶の記録(2021) 國分謙一・今坂正一、熊本県における1月のタテハモドキの記録 國分謙一、会員のスケッチ紹介 ②【ブシアシナガドROMシ】 築島基樹、

昆虫 DNA 研究会ニュースレター (蝶類 DNA 研究会)

No.37 (2022年9月発行) A4, 40pp, 1,800円 (税込・送料別)



【追悼 大澤省三先生】追悼 大澤省三先生 大場裕一、大澤省三先生のご逝去を悼む 毛利秀雄、“サイエンスを面白くする”ことに生涯を捧げた科学者 蘇川 寛、大澤省三先生の逝去を悼む 蘇 智慧、【論文】交雑由来個体群に分類学上の価値はない? 富永 修、【エクステンデッドサマリー】マルヒメツヤドロムシ *Zaitzeviaria ovata* の分子系統地理 吉田 匠・林成多・竹中將起、ヒメシロチョウのマイクロサテライトマーカーの開発と日本各地の遺伝的多様性の評価 福田琳之介・上田昇平・矢後勝也・平井規央、【研究会の報告】プログラム (開催済)、2022年度昆虫 DNA 研究会第18回研究集会を終えて 竹中將起、2022年度昆虫 DNA 研究会信州昆虫同好会合同大会に参加して 川島育海、研究会に参加して 宮本 通

さやばねニューシリーズ (日本甲虫学会)

No.46 (2022.6 発行) B5, 76pp, 1,300円 (税込・送料別)



甲虫コレクションガイド 27 飯田市美術博物館の甲虫コレクション 四方圭一郎、東京湾沿岸部 (東京都) で確認されたオオトゲバゴマフガムシとその生息環境 内田大貴・高野季樹・古旗峻一・大原庄史、本州におけるケマダラケシキスイの追加記録 齋藤理、ツマキクロツツハムシを東京都の低標高地でアカマツ・クロマツより採集 関峻大・伊藤淳・山崎裕志、鳥取県におけるアカダルマガムシの初記録 森本涼介・林成多、兵庫県にてタケトゲハムシを採集 篠原忠、ツヤハダヒメゾウムシ北海道からの記録 吉原一美・保田信紀、ヤスデを捕食するキバナゴミムシ 椎葉瞭太、茨城県における海浜性ケシガムシ属 3種の初記録 渡辺黎也、ヨナグニチビコメツキが小笠原諸島父島に定着か 鈴木瓦・野中俊文、山口県におけるサンインヒメツヤドロムシの初記録 相本篤志・井上大輔・伊藤藤、北海道におけるダイコクアリツカムシの記録 田作勇人、佐賀県・長崎県におけるサンインヒメツヤドロムシの初記録 井上大輔・司村宜祥・林成多・伊藤藤、三重県産コガシラミズムシ科甲虫の記録 秋田勝己、ナガアシヒゲナガゾウムシの新寄主植物と分布について 今田舜介、熊本県におけるタマゴゾウムシの記録 緒方靖哉・城戸克弥、秋田県秋田市で採集されたオオイチモンジシマゲンゴロウの北限記録 猿田朝久・西原昇吾・古川大恭・上田卓哉・高橋 玄、東京都におけるトラフコメツキの斑紋変異の例 上田衛門、伊豆諸島八丈島から発見されたホソツヤケシコメツキ (コメツキ亜科、ツヤケシコメツキ族) の形態について 鈴木瓦、千葉県におけるヒコサンセスジゲンゴロウの記録 菅谷和希・亀澤洋、中国地方から再発見されたオオウバタマコメツキについて 鈴木瓦・大生唯統、カプセルトイの甲虫フィギュア「点灯むし」について 高田兼太、九州本土初記録のウエノツヤゴモクムシ 中村涼、山口県におけるクロシオガムシの初採集記録 平田渉・中島淳・乾隆帝、日本産ヒゲフトハネカクシ属 *Aleochara* (ハネカクシ科、ヒゲフトハネカクシ亜科) の種同定の手引き IV: *Tinotus* 亜属 山本周平・丸山宗利、愛知県におけるゴマダラチビゲンゴロウの34年ぶりの記録 池竹弘旭、アムールホテイアリツカムシと名新称の日本初記録 野村周平: エビスアリツカムシとホテイアリツカムシに関する分類学的ノート (付、日本産コナガアリツカムシ属 *Leptoplectus* 分布資料 (ハネカクシ科、アリツカムシ亜科) 野村周平、愛媛県石鎚山山頂の水たまりで採集されたアリツカム

シ2種 野村周平・吉富博之、南西諸島のナミテントウ、クリサキテントウ、そして *Harmonia* sp. 伊藤淳、フィールドノートをつけよう 吉富博之、伊豆大島で採集されたタマムシ科甲虫および伊豆諸島産種のリスト 瑤寺裕、口永良部島におけるキイロホソネスイの記録 仲村華人・葛西弘・澤富拓夫・早坂大亮、滋賀県および岐阜県におけるタカオチビゴミムシの初記録 川村康平、兵庫県南あわじ市におけるトウカイヒメツヤドロムシの採集記録 石山侑樹、愛知県でツマグロマルハナノミを採集 池竹弘旭、淡路島および奄美群島喜界島におけるイトヒゲナガソウムシの採集例 今田舜介、石川県におけるコウチュウ目3種の初記録 渡部晃平

駿河の昆虫（静岡昆虫同好会）

279号（2022年9月発行）B5, 24pp. 650円（税込・送料別）



御殿場市小倉野の甲虫類調査報告（2021年）平井克男、富士市で採集された数種のゴミムシ類の記録 小堀健、ムシクロツバメシジミ静岡県での発見 高橋真弓・安藤博夫、佐鳴湖北岸の一次林のアリ相 大津颯真・中飯俊明・古橋琉樹・沖田一郎

多摩虫（グループ多摩虫）

No.79（2022年9月15日）B5, 125pp. 2,000円（税込・送料別）



チョウと花の桃源郷・アルメニアを訪ねて 福田晴男、ニセクシバ 誕生の物語り 田所輝夫、2010年北ベトナム採集記 前川峻、ベラカン (Belacan) トラップについて 山田成明、蝶学生のまだ見ぬ遠くへ (VII) -伊豆のガラスアゲハ- 楠本優作、蝶採り変遷 北川朝生、東京都のクロマダラソテツシジミ記録分析 倉地正、東丹沢山塊に最東端・最北端のキリシマミドリシジミを求めて 川村篤史、心に残るチョウの観察地 (1) -北海道編- 佐藤

和恭、ホシミスジの東京都世田谷区での分布について 仁地悠人、青森県下北半島（北部～南部）の蝶類継続調査報告（追記） 樋田光、”遍路蝶々” 宮崎安弘、香岐の虫現況&洗面器トラップで捕らえた虫たち 山下又幸、外来種アメリカピンクノメイガの横浜市内での観察記録 石川光一、高尾山のムカシトンボとムカシヤンマ 麻生紀章、多摩丘陵昆虫ノート (26) スジクワガタの採集記録 松井安俊、クロコムラサキ&アカボシゴマダラ（奄美亜種）の生涯飼育について【シリーズ 飼育雑感】 松井弘、コツバメの代用食テスト【シリーズ 飼育雑感】 羽鳥信義、チョウセンアカシジミの一飼育法【シリーズ 飼育雑感】 川村篤史、いろいろな昆虫地名(続) 築根照英、TAMAMUSHI Short Reports 《短報》同一場所におけるヒメシジミ幼虫の4種の食草を確認 青木航太、自然状態でオオバコを食べるコヒョウモンモドキ幼虫 青木航太、東京都におけるエソミドリシジミの記録 川村篤史、ベニモンカラスシジミのハリガネムシ寄生例 川村篤史、東京都杉並区立柏の宮公園で多数のコムラサキを確認 藤森良経、東京都杉並区で2021・2022年に観察された特筆すべき蝶7種 渡辺隆、二度越冬したタイワンツバメシジミ幼虫 白井建、東京都におけるクロマダラソテツシジミの早期目撃報告 伊勢崎真司、東京都区内におけるミドリヒョウモン新成虫の最早期記録 仲西周二、ウラギンシジミ交尾ペアの飞翔形式観察例 蛭川憲男、編集後記・表紙解説

誘蛾燈（誘蛾会）

No.249（2022年8月発行）B5, 52pp. 2,000円（税込・送料別）



日本産ボクトウガとヒメボクトウの区別点と学名について 櫻井正俊・小松利民、沖縄島、石垣島におけるフタクロボシハビロキバガの生態記録 富永智、秋田県内で採集したマルハキバガ科 梅津一史、ヒトリガ備忘録 (4) 三宅恒方が記録したヒトリガ2種およびヒメキシタヒトリに関する追加知見 岸田泰則、アキノヒメミノガの幼虫期 (I) -新幼虫の分散について- 齋藤孝明、ウスタビガの産卵場所 西尾規孝、石川県産蛾類の採集記録に基づ

く垂直分布と化性の考察 I V-メイガ上科 富沢章、オオウスオビヒメハマキの兵庫県からの記録 長田庸平、シマホソメイガ族の未記載種について 青木俊彦、クロミヤクホソメイガを宮城県で採集 青木俊彦、蛾類の交尾時における交尾器の結合について (4) シロオビノメイガの場合 宮野昭彦、オオノコバヨトウの新潟県 (佐渡島) からの初記録および幼虫の生態・形態に関する考察 綿引大祐、メイガ上科蛾類の尾端部の光る毛束について 宮野昭彦、岐阜県におけるウスイロキシタバの追加記録 平坪和規、佐渡島からのフユシヤク類の記録 綿引大祐、バイバラシロシヤチホコの飼育 西尾規孝、奈良県生駒市でベニイカリモンガを採集 長田庸平、訂正 沖縄本島におけるツトガ科とメイガ科数種の食草 (富永智)、訂正 沖縄本島と石垣島におけるハマキガ科数種の生態記録 (富永智)、紹介 南伊勢町沖洲蛾類調査報告書 (伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会)、紹介 岐阜県大野郡白川村白山山麓の蛾類 (遠藤弘志・笠井初志・宮崎弘規・大和田守・説田健一)、紹介 ながら川ふれあいの森の昆虫類 (II) ~百々ヶ洞のチョウ目昆虫類~ (田中正弘)、おしらせ 誘蛾会ノベルティの販売について、おしらせ 投稿にあたってのお願い、昆虫誌から -No. 239

昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>

EMAIL: roppon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町 24-3 三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164 FAX: 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号 001202 番号 18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱 UFJ 銀行 室町 (ムロマチ) 支店

普通預金 3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

